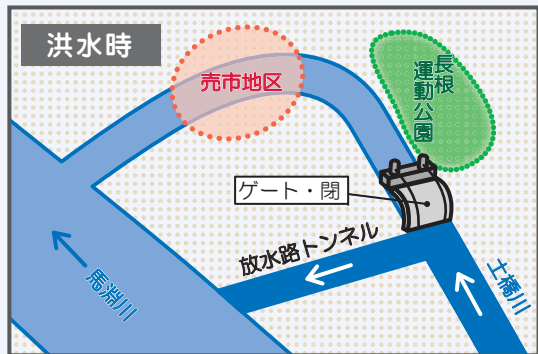
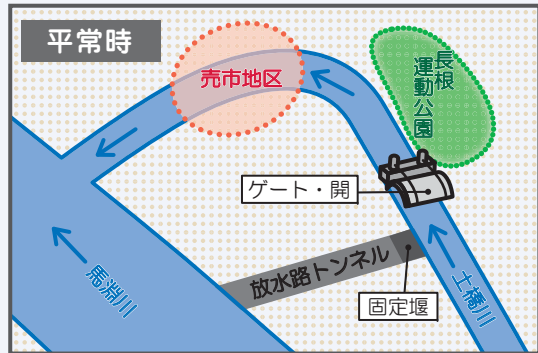


## 施設概要

平常時には放水路トンネルに水が入らず、全量が土橋川下流へ流れます。

洪水時には、水位を感知して、自動的にゲートを閉鎖し、放水路トンネルに水を流します。



### 吐き口部

放水路トンネルの出口で、洪水時には一級河川馬淵川に放流します。

減勢工を設置し、流水のエネルギーを減勢して馬淵川へ流入させます。



標準断面図

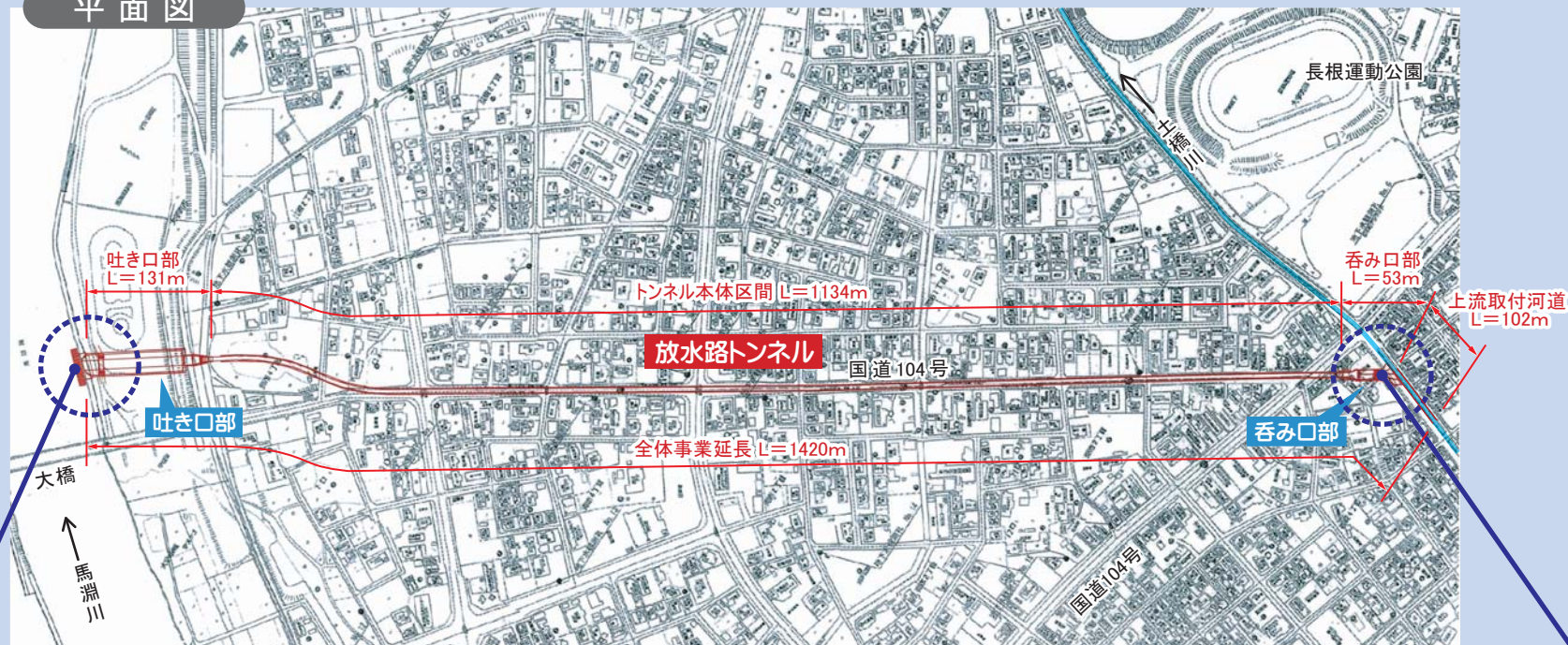


### トンネル本体

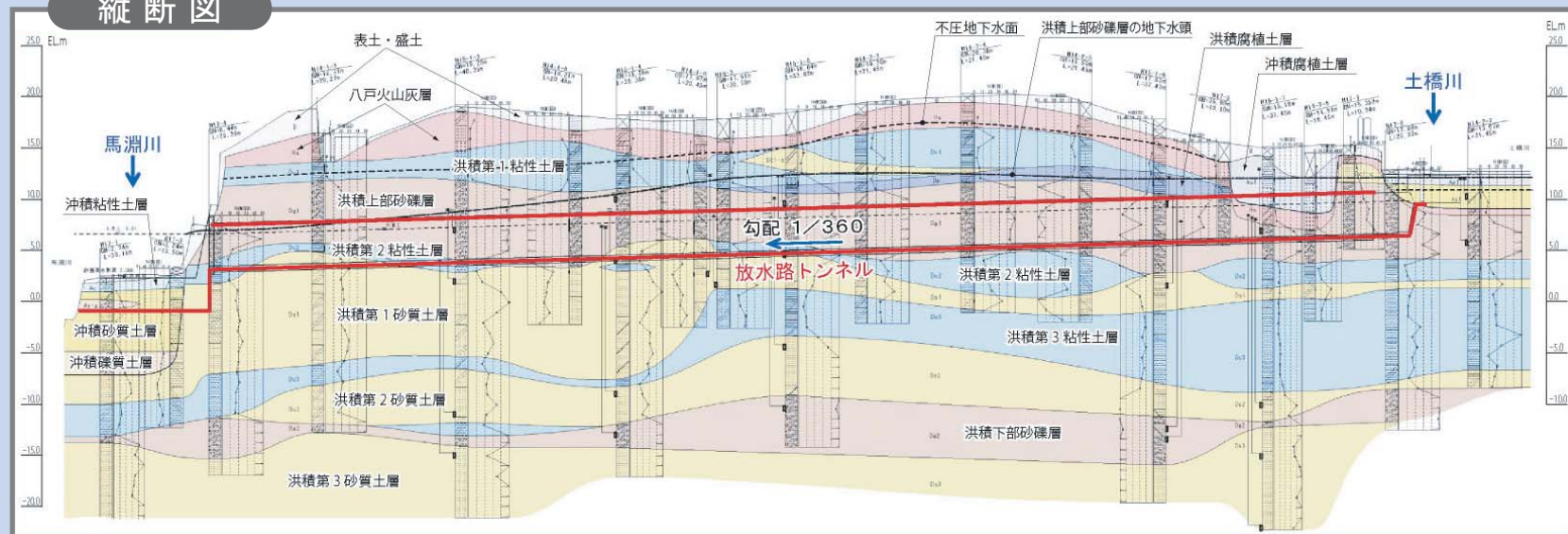
放水路トンネルの区間は、直径4.4mの円形断面となっています。円形なのは、トンネルを円形のシールドマシンで掘削したためです。

トンネルの勾配は1/360で、見た目にはほとんど水平に感じられますが、洪水時には最大で約4m/sの流速が発生します。

### 平面図



### 縦断面図



### 監視制御装置

呑み口部と吐き口部には、監視カメラを設置し、モニターを通して随時確認できる体制をとっています。



### 呑み口部

放水路の入口で、幅6.5m高さ1.1mの開口部が4箇所並んでいます。河床より1.3mの高さに開口部があるため、写真のとおり平常時は放水路に水が入らず、土橋川の下流へ全ての水が流れていきます。

洪水時には、呑み口部の下流側にあるゲートが閉じて、放水路トンネルに水が流入します。